

# ハンドボール

Japan  
Handball  
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 少年女子

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合番号 E-f

年月日 2023 年 10 月 8 日 (日)  
大会名 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

## 公式記録用紙

A	山口県										鹿児島県										⑧				
都道府県	鹿児島県					市町村	霧島市					会場	霧島市国分中央高等学校										回戦	1回戦	
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m7D-7F外		A	B										
7m得点/総数		3/3	チームタイムアウト						チームタイムアウト			B	7m得点/総数												
		1	2	後	3				1	2	後	3	5/6												
		2833	2411							2853	1208	2924													

No.	山口県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	鹿児島県	G	W	2'	2'	D	DR
1	入江 心月							1	浅谷 栞月						
2	中村 愛美	5						2	福留 愛音	4					
3	沢原 千明							3	馬場 莉琉						
4	藤中 美羽							4	岡山 ことみ						
5	宗像 そな	1						5	日置 千智						
6	野崎 文華			1				6	今藤 菜々佳						
7	福山 聖奈	4						7	坂本 悠莉	7					
8	松本 実子	2		1				8	野村 月乃	4					
9	森 菜々美							9	永井 杏梨	3		1			
10	山下 菜花	3	1					10	池田 二葉	5		1			
11	川崎 育海	6		1				11	丹下 こころ	4					
12	尾崎 羽南							12	樋口 莉子						
監督A	西本 昌豊							監督A	庄屋 亮二						
役員B	加藤 晃							役員B	南 里穂						
役員C	田熊 希							役員C	石井 彩子						
役員D	山本 結莉														

A 西本昌豊 チーム役員A署名 庄屋 亮二 B

特記事項

レフェリー	知念 昌平	新垣 裕己	石崎 章弘 石崎 章弘 石崎 章弘
TD	石崎 章弘	松尾 俊彦	
MO	石崎 章弘		

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

## 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月 8日 (日)	試合番号	E-1	回戦	1回戦
種別	ハンドボール	会場	霧島市立国分中央高等学校精華アリーナ		

Aチーム名			Bチーム名		
山口県			鹿児島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
21	9	前半	10	27	
	11	後半	10		
	1	第1延長前半	3		
	0	第1延長後半	4		
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

地元の応援を背にした鹿児島県と県内の強豪である高水高校で挑む形となった山口県の少年女子一回戦。鹿児島県のスローオフにより試合は開始した。序盤は緊張のせいか両チームともミスが目立つ中、山口の坂本がサイドシュートを決め先制しその後も2連続で山口が得点を入れた。鹿児島も機動力を生かしたディフェンスで流れを渡さない。前半14分に山口の選手が二時間退場を受けて数的優位な鹿児島は猛攻を続け、三連続で得点を重ねる。しかし山口も良いディフェンスを行い、キーパー⑫尾崎が好セーブを連発、その後鹿児島⑩永井が二時間退場し、その間山口が猛攻を続け同点に追いつき一進一退の攻防が続く。9対9同点の状態突き放したい鹿児島が28:53タイムアウトを申請した。タイムアウト明けの攻撃で鹿児島は相手チームの退場を誘い7mTを獲得、これを決め10対9で前半を終了した。後半開始直後に山口⑫中村がディフェンスを引きずりながらのPVシュートを放ち、7mTを獲得し鹿児島に2時間退場を与えた。さらに徐々に山口のディフェンスの圧力が増していき速攻により得点を重ね、山口⑩山下、⑪川崎がオフェンスの起点となり後半20分時点で山口が3点リードする展開となった。しかし鹿児島も粘り強くディフェンスを行い、後半27分で⑫福留のシュートにより差を一点に縮め、⑩野村のディフェンスからの速攻で同点に追いつく。しかし山口⑩松本がミドルシュートを決め後半29分一点ビハインドで鹿児島の攻撃、PVにパスを出し7mTを獲得、それを⑫福留が決め20対20で延長に突入した。延長前半、鹿児島⑦坂本がキレのあるシュートで3連続得点し、それに応える形で⑪浅谷がナイスセーブを連発、23対21鹿児島リードで延長前半を終えた。

延長後半の一点目は鹿児島⑫福留、⑩野村の息の合った連動で得点を決め、その後激しいディフェンスからの速攻により4連続で得点を決め、最終的には、27対21で鹿児島が勝利した。

記載者氏名	鈴木康太
送信日時	10月 8日 (日) 13:30